

5

森と陸と海と空のかかわり： 地球をめぐる総合科学

私たちの住む地球では森と陸と海が密接にかかわりあい、繊細なバランスを保っています。この講座では「地球をめぐる総合科学」をテーマにし、さまざまな視点から、地球環境を総合的にとらえ、持続的な社会構築へのヒントを考えます。

会 場	対 面： 広島大学東千田キャンパス 総合校舎A棟5階 A501講義室 オンライン： -
時 間	①10:00～10:55 ②11:05～12:00 ③13:15～14:10 ④14:20～15:15 ⑤15:25～16:20
定 員	対 面： 100 名 オンライン： - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 10/5 (月) ※ 定員に達しなければ 11/4 (水) (必着) まで先着順で受付

気候を変える大気と海洋の相互作用

講 師： 大学院統合生命科学研究科/総合科学部 教授 岩本 洋子

第1回

11/14 (土)

①10:00～10:55

地球の表面の約7割を占める海洋は大気と熱や物質をやり取りすることで、気候に大きな影響を与えています。世界平均の約2倍の速度で温暖化が進む日本周辺海域と極端気象との関わり、地球を冷ます雲の役割について、野外観測の実際を交えながら解説します。

地球をめぐる水と森のかかわり－持続可能な環境と社会の視点から－

講 師： 大学院先進理工系科学研究科/総合科学部
教授 小野寺 真一

第2回

11/14 (土)

②11:05～12:00

水は海から空、陸、そして海へとめぐり、地球の生命を育み、人間・社会を支えています。この講義では、特に森に注目し、『緑のダム』としての水源涵養や水害制御機能の真偽、森林の水消費・大気放出がもたらす『空の川』の意味、『森は海の恋人』なのかなどを、地球環境や水環境問題と関連付けて解説します。

花崗岩の一生に見る岩石-水-大気のかかわり

講 師： 大学院先進理工系科学研究科/総合科学部 教授 横山 正

第3回

11/14 (土)

③13:15~14:10

広島県を代表する岩石である花崗岩は、地下深部で誕生後、長い時間をかけて地中を上昇し、現在は地表に露出しています。地表では花崗岩が風化して砂状になり、侵食されていきます。また、花崗岩と雨水との反応は、大気の大気二酸化炭素濃度を調節する役割も持つと考えられています。講義では、これらの過程を解説します。

森林が地球温暖化の力ギだった！？森と空との深い関係

講 師： 大学院統合生命科学研究科/総合科学部 教授 山田 俊弘

第4回

11/14 (土)

④14:20~13:15

地球温暖化は、大気中の二酸化炭素濃度の上昇によりもたらされています。では、大気の大気二酸化炭素濃度上昇の原因は、何なのでしょう？ もちろん、化石燃料の使用は、その主要な原因です。しかし、意外なことに、森も地球温暖化に一枚噛んでいるのです。講義では、森と空との深い関係を温暖化の視点から解説します。

有機物やプラスチックによる環境汚染

講 師： 大学院統合生命科学研究科/総合科学部 教授 竹田 一彦

第5回

11/14 (土)

⑤15:25~16:20

私たちが接する環境は常に何らかの「汚染物質」にさらされる可能性があります。過去においては毒性の強い農薬や重金属による環境汚染が深刻でした。今はどうでしょう？汚染物質の過去と現在を解説しながら、地球環境の将来を考えていきます。

講座内容に関する
お問い合わせ先

総合科学系支援室（学士課程担当）

電 話： 082-424-7919

メー ル： souka-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp